

氏 名	笹井 (藤田) 佳奈
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博 甲第 7363 号
学位授与の日付	2025年9月25日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 社会環境生命科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Manifestation of Headache Affecting Quality of Life in Long COVID Patients (COVID-19 罹患後症状に伴う頭痛が患者の QOL へ与える影響)
論文審査委員	教授 高木 学 教授 本田知之 教授 小川弘子

学位論文内容の要旨

本研究では、頭痛を呈する COVID-19 罹患後症状の特徴を明らかにすることを目的とした。頭痛は罹患後症状の中核症状といえるが、その特徴や病態は未解明な点が多い。そこで 2021 年 2 月から 2022 年 11 月までに岡山大学病院を受診した COVID-19 罹患後症状患者 482 名で後ろ向き症例対照研究を実施した。頭痛を訴える 113 名（頭痛群）と訴えない 369 名（非頭痛群）を比較すると、頭痛群の平均年齢は非頭痛群と比して有意に若年であったが性差は認めなかった。頭痛群では他株よりもオミクロン株と思われる症例が有意であった。頭痛群では COVID-19 罹患から初回受診までの期間が非頭痛群と比して有意に短く、全身倦怠感・不眠・眩暈・発熱などの併存症状が多かったが、血液生化学データには差を認めなかつた。多変量解析の結果、頭痛・不眠・眩暈・倦怠感・痺れが罹患後症状の生活の質（QOL）に関与していた。本研究によって、COVID-19 罹患後症状に関連する頭痛の発現は、患者の社会活動および心理面にも大きな影響を及ぼすことが明らかとなった。

論文審査結果の要旨

頭痛は COVID-19 罹患後症状の中核症状といえるが、その特徴や病態は未解明な点が多い。本研究では、頭痛を呈する COVID-19 罹患後症状の特徴を明らかにすることを目的とした。2021 年 2 月から 2022 年 11 月までに岡山大学病院を受診した COVID-19 罹患後症状患者 482 名で後ろ向き症例対照研究を実施した。頭痛を訴える 113 名（頭痛群）と訴えない 369 名（非頭痛群）を比較すると、頭痛群の平均年齢は非頭痛群と比して有意に若年であったが性差は認めなかった。頭痛群では他株よりもオミクロン株と思われる症例が有意であった。頭痛群では COVID-19 罹患から初回受診までの期間が非頭痛群と比して有意に短く、全身倦怠感・不眠・眩暈・発熱などの併存症状が多かったが、血液生化学データには差を認めなかつた。多変量解析の結果、頭痛・不眠・眩暈・倦怠感・痺れが罹患後症状の生活の質（QOL）に関与していた。

委員からは、本研究者の本研究における役割、Long COVID-19 の症状としての頭痛と一般的な頭痛との違い、うつ病との鑑別、症状の聴取方法、本研究の意義についての質問があり、本研究者より回答を受けた。

本研究は、COVID-19 罹患後症状に関連する頭痛の発現が、患者の社会活動および心理面にも大きな影響を及ぼすことについて、重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。